

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、水防災意識啓発のための活動を実施。
- 排水ポンプ車の展示、浸水体験装置(浸水時のドアの開けづらさを体験)及び降雨体験装置(激しい雨や強風を体験)を用いた洪水等災害体験を行いました。
- 参加された方から、「雨が怖かった。水の力の強さを実感できた。」との感想がありました。

第29回るもい川まつり 概要

目的：昭和63年に発生した留萌川における大規模出水発生から30年の節目を迎え、防災意識の重要性を広く伝えるため、市民が参加できる手作りイベントを開催。洪水パネル展示、降雨体験や浸水体験などを通して、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

実施日：平成30年8月19日(日)

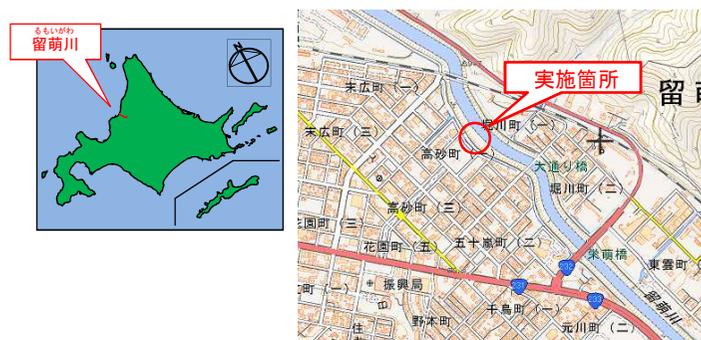
実施場所：高砂公園裏留萌川河川敷
(留萌市高砂町1丁目地先)

主催：るもい川まつり実行委員会

後援：留萌市、留萌開発建設部、株式会社堀口組、エフエムもえる、ルルモッペ河川愛護の会

参加人数：約1200人

取組内容：洪水等災害体験、排水ポンプ車の展示



実施状況



降雨体験装置



浸水体験装置



排水ポンプ車の展示